

「肝臓に関する血液検査」

～病院で渡された検査結果何をどう見れば良いの～？

弘前大学医学部附属病院 消化器血液免疫内科 医師 吉田 健太

病院での診察や健診結果を確認する時に、ご自身の血液検査結果を目にする機会は少なくないと思います。ただ、並んでいる項目にどういう意味があるのかよくわからないこともあるのではないかと思います。今回の肝臓病教室では、**肝臓に関係した血液検査項目**について簡単に説明します。ご自身の肝臓の状態をあらためて考えるきっかけにさせていただければと思います。

AST・ALT



- 肝臓を診る時、はじめに確認する血液検査項目
- ほぼ全ての肝臓の異常で高値となる
- 健康な方でも、ALTが30を超える場合は要注意



γGTP

- 肝臓での解毒に関係する
- **アルコール（飲酒）の影響**を受けて、高い値を示す
- 肝臓以外でも、胆道や膵臓の病気でも高い値になることがある

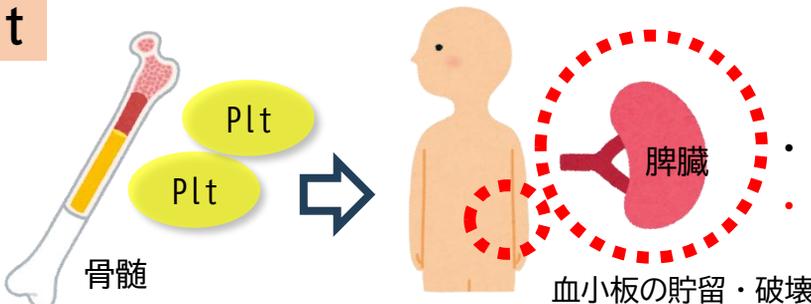


PT・Alb・ChE

肝臓で合成され、**肝臓がきちんと機能しているかどうか**の参考になる

- PT（プロトロンビン時間） 凝固因子（血を止める働き）
- Alb（アルブミン） タンパク質
- ChE（コリンエステラーゼ） 神経伝達物質を分解する酵素

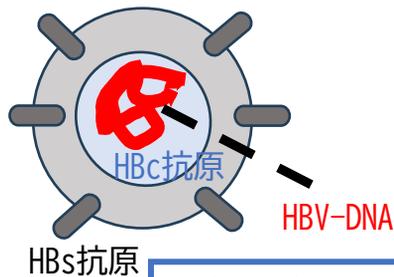
Plt



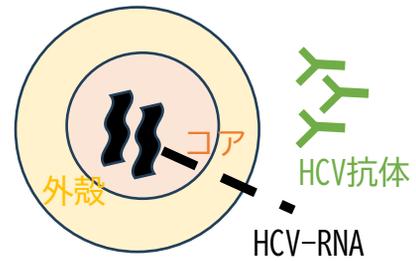
- 血が出た際、止血機構の最初に働く
- **肝硬変の方では、その進み具合を評価する指標になる**



HBV・HCV



B型肝炎ウイルス



C型肝炎ウイルス

マーカー 陽性の意義

HBs抗原	ウイルスの表面にあるタンパク。陽性であれば、現在の感染状態を考える。
HBs抗体	感染したことがある or 現在も感染している or ワクチン接種後
HBc抗体	感染したことがある or 現在も感染している
HBV-DNA	ウイルス量を反映 陽性であればウイルスが体内にいる

マーカー 陽性の意義

HCV抗体	感染したことがある or 現在も感染している
HCV-RNA	ウイルスの有無を反映

AFP・PIVKA-II



肝細胞癌があると陽性になることがある腫瘍マーカー

- 15-50%で陽性となるとされている
- 肝細胞癌以外でも、内服薬やお酒の影響でも陽性となる場合がある

NH₃

- 食事中のタンパク質からでき、肝臓で分解される物質
- 肝性脳症の指標になる

“いつもと様子が違う、羽ばたき振戦、昏睡”

TG・Chol・HbA1c・UA

- TG (中性脂肪)
- Chol (コレステロール)
- HbA1c 血糖値のコントロールの指標
- UA (尿酸) 高くなると痛風発作を起こしやすくなる

肝臓と直接関係はしないが、特に生活習慣病と関連する肝疾患の方は、気にするべき項目

参考 <https://www.irasutoya.com>
[https://www.jmedj.co.jp/blogs/product/product_10847#:~:text="](https://www.jmedj.co.jp/blogs/product/product_10847#:~:text=)

●●●● 肝疾患に関するご相談・ご質問は 肝疾患相談センターへ ●●●●

弘前大学医学部附属病院 〒036-8563 弘前市本町53 TEL 0172-33-51111 内線 4020